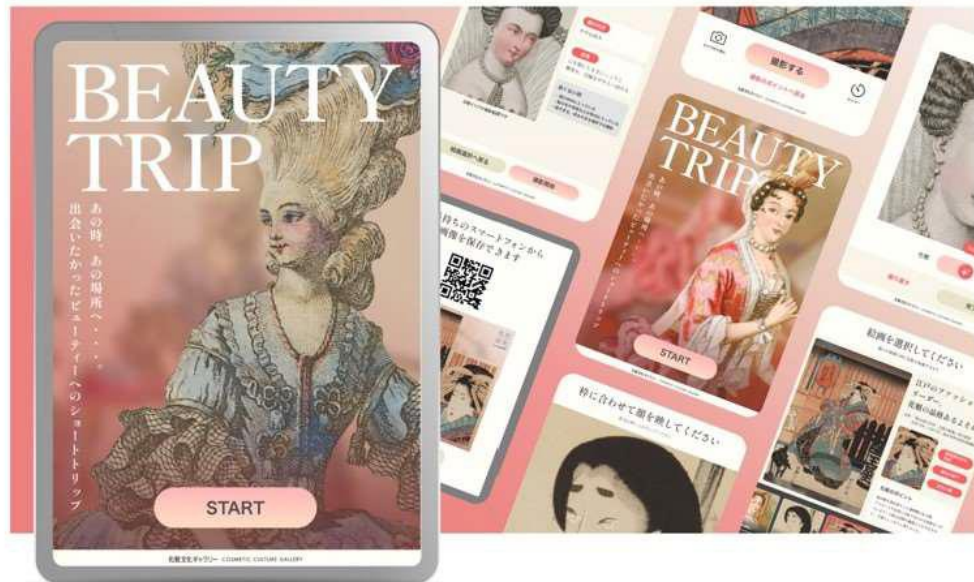


[Discovery Days 活動報告]

ワークショップ

BEAUTY TRIP



株式会社 PIVOT プレスリリースより

本稿で紹介する顔はめアプリ「BEAUTY TRIP」は、歴史的な化粧を体験できるアプリを使ったワークショップツールとして開発した。観光地やテーマパークなどで顔の部分をくり抜いた等身大のボードを見かけることがある。顔をはめてボードに描かれた人物になりきって、ちょっと照れながら仲間と写真を撮りあう。旅先などでそんな楽しい時間を持ったことがある人は多いのではないだろうか。「BEAUTY TRIP」は、その体験を最新のテクノロジーでもっとスマートに、そしてポーラ文化研究所のもつ資産を生かし、「さまざまな時代の憧れの Beauty の姿へ Trip してもらおう」ことを目的に、企画開発を進めてきた。本デジタルツールは、時代や地域、身分などで異なる美意識やよそおいに関するマナーやルールを知り、その中を自由に旅するように感じてほしい、なりきることで Beauty に対する思いを深く知ってほしいという願いをこめている。

顔をはめる原画は、いずれもポーラ文化研究所の所蔵品や書籍のイラストからの抜粋である。まず初めに、時代や地域、身分によって異なる美の基準についての理解を深めるために、研究員から各時代の化粧や髪型についてのレクチャーを行った。



枠となる素材は当初 5 種類でスタート 現在は 10 種類の BEAUTY TRIP を楽しめる

次に、アプリでの体験に移る。参加者は、アプリを搭載したタブレットを操作して、自分の顔を撮影、調整、画像のダウンロードへと進む。このプログラムでは、ポーラ文化研究所の研究資産を、伝える、学ぶというアクションではなく、「なりきる」という体験をとおして当時のよそおいや美意識を感じることを狙いの一つとしている。そのためには「本当になりきってもらう」ことが何より重要で、原画に描かれた時代や地域ごとのメイクのポイントだけでなく、顔の向き、表情や視線などの撮影時のヒントをアプリ内に掲載した。

そして、一番のこだわりが、カメラで撮影した写真に、研究知見にもとづく「特徴的な化粧」を施すことである。アプリには、タブレットで撮影した画像に、「バラ色の頬」「つけぼくろ」「置き眉」などの独自の化粧フィルターを合成、さらには適切な肌の明るさを微調整する機能を設けている。



株式会社 PIVOT プレスリリースより

一通りの操作説明の後にはタブレットで撮影に入るが、参加者は各自真剣な表情で画面を見つめ、操作を行っていた。しばらく会場が静かになった後に、出来上がったなりきり写真に思わず笑いこぼれるのが毎回のワークショップの光景である。完成した顔はめ画像は、二次元バーコードを読み取ってスマートフォンなどにダウンロードが可能で、来室のお土産にもなっている。参加者同士で写真を見せて感想を語りあったり、アドバイスを交わしたり、真剣な表情で全素材を制覇する参加者も少なくない。

2025 年末からは「BEAUTY TRIP」のアプリを搭載したタブレットは、化粧文化ギャラリーに常

設しており、フリー開室時は誰でも体験可能となっている。ぜひ多くの人に、「なりきりメイク」による美意識の変遷を体験していただきたい。

(文責：富澤 洋子)